

前回より、美しさを深く考えるようになりましたね。

くマンズにするのが良いと思います。字牌を刻子にする方法もありますが、何故字牌を雀頭にするので

【混】というのは、一色に字牌が混じっているという意味なのでこの【混】の字、こ

●三色同順 ●一気通貫 この7種類です。まずはお手札から考えてみましょう。

らかじめ、数牌の刻子は九としておけば、自然と交換しやすいです。差し替える役牌は三元牌の中が良かったと思います。視覚的にも、説明のしやすさから

「混一色」は門前で3翻、喰い下がり2翻だと伝えるのですが、このタイミングで「役牌」を「ポン」することの有効性を伝えてもいいのかもしれない。

「混一色」は門前6翻、喰い下がり5翻の役です。これは、役満を除いた役の中では一番高い美しい清一色

PROFILE 麻雀店経営にも携わる現役麻雀講師。麻雀プレイヤーとしての顔も持つ。その歯に衣着せぬ発言は麻雀を愛するがゆえ。



す。改めて麻雀を発明した中国の皆さんの素晴らしさに私は毎回感激するのですが。ここで伝えることはそれほど多くありません。

「清一色」の美しさをまず理解して頂いた後に、いきなり翻数の話をしても構わないでしょう。

これは、役満を除いた役の中では一番高い役であることをまずは伝えます。

そして、美しさと同時に、作ることの難しさも伝えなければなりません。

1種類の数牌36枚中、14枚を自分の手の中で使って形を作るのがどれくらい難しいかという話は、自身の体験も交えて伝えてあげることがあります。

だからこそ、役の中では一番高い役であるのが「清一色」であると伝えると、生徒さんは必ず「清一色」に強い憧れを抱いてくれるはず。

しかし、作るのには難しい「清一色」ではありません。意外にも作るのには簡単だということを伝えてあげることが大切です。

それくらい、【清】という文字の美しさにおけるインパクトは強いということになります。

麻雀を覚えていくと、なかなか思い切りよく牌を捨てていくことは出来なくなってしまう。でも、麻雀を覚えて間もないタイミングであれば、実はそれほど難しいものではないのです。

事実、この「清一色」を伝えた時の麻雀教室での「清一色」の和了率はビクビクするくらい高いのです。

それだけ「ピュアに手役を狙うことは大切だ」ということなんです。

それは、待ちが複雑になるというのと、相手に何をやっていくかわかりやすくなってしまうということなんです。

しかし、それは、待ちが複雑な待ちを瞬時に答えることが出来れば、「やっぱり先生ってすごいんだ！」ってことに変わります。

今回はここまで。次回はいよいよ3つの役の説明をしたいと思っています。

「麻雀を楽しくスムーズに覚えてもらうためにはどうすれば？」

この連載は麻雀教室の開講をお考えの営業者に、現役麻雀講師が持つスキルのすべてを大公開！連載第9回目は、美しき「混一色」と「清一色」について

しく、比較的理解してもらいたい役を2つお伝えしたいと思います。

混一色をどう教える？

次にお伝えする役は、『混一色』（ホン一ソウ）です。一般的にはホンイツと言う

それは、他の役を手牌に組み込まないようにするということなんです。『混一色』の形を理解してもらいやすくするために、まずは雀頭を字牌にしておくのが良いということですね。

そして、この『混一色』で最初に伝えるべきことは、『混一色』が全体役であるということなんです。

この『混一色』ですが、ここまで学んできた役の中で非常に相性の良い、複合しやすい

やすい手役がおのずとわかると思うのですが、何だかわかりませんか？

ここで言えば、大抵の生徒さんは反応するはずなんです。

そしてこの『混一色』を伝えるのに、最後に伝えるのは『混一色』の翻数です。

『混一色』は視覚的にも非常に美しい手役であるために、アガった時にももらえる翻数が多いということを伝えるんです。

話をすると、理解度の進んだ生徒さん達にも喜んでもらえるのではないのでしょうか？

先程の『混一色』のご理解してもらえていれば、この『清一色』の説明は本当に簡単です。

麻雀を教えるって、どうやっていいの？

1種類の数牌と字牌で作る形の『混一色』

この『混一色』をお伝えする場合も、あらかじめ図示しておくのが良いです。

図示する牌姿には、順子と刻子を共に組み込んだ形にするのが良いでしょう。

この段階ではまず雀頭を字牌にすべきです。そして数牌はわかりやす

牌姿に関わらず、手牌が字牌と一種類の数牌で構成される役だということをわかりやすく伝えるために、順子と刻子を複合した牌姿で雀頭を字牌にするの

ここで注目するのは、『混一色』の『混』です。

●リーチ ●門前清自摸和 ●断么九 ●役牌 ●平和

ここで、図示した手牌の中に組み込んだ数牌の刻子を差し替えて、役牌を混一色の牌姿に組み込みます。(あ

『混一色』は門前で3翻、喰い下がり2翻だと伝えるのですが、このタイミングで『役牌』を『ポン』することの有効性を伝えてもいいのかもしれない。

話をすると、理解度の進んだ生徒さん達にも喜んでもらえるのではないのでしょうか？

『清一色』とは、1種類の数牌で作る役です。

先程の『混一色』のご理解してもらえていれば、この『清一色』の説明は本当に簡単です。

生徒さんからは、色々な答えが飛び交うはず。

さて、どんな漢字が入るのでしょうか？と質問するのです。

生徒さんからは、色々な答えが飛び交うはず。

さて、どんな漢字が入るのでしょうか？と質問するのです。